PAT-NO:

JP407227170A

DOCUMENT-IDENTIFIER:

JP 07227170 A

TITLE:

PERCH MEMBER FOR PET AND PLAYING

TOOL FOR PET USING THE

SAME

PUBN-DATE:

August 29, 1995

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

SAKAI, KOZO

INT-CL (IPC): A01K031/12, A01K001/035

ABSTRACT:

PURPOSE: To provide a perch member for pet capable of effectively blowing off stress similarly to natural tree and expecting health promoting effect and to provide a playing tool for pet using the perch member.

CONSTITUTION: Perches P2, P3 and P4 are made of wood and formed in a round rod. Required numbers of projections 10 are spirally formed over the whole circumference in the peripheral wall parts of the perches P2, P3 and P4. The cross section of each projection 10 has inverted V-shaped type form and the top is finished in slightly round shape. A base wood 2 has a support 20 and plural perch members P2 are attached to the support 20 in radial direction. A swing 2

direction. A swing 3 has hanging rods 30 and 30. Hooks (f) are attached to the

tops of the rods 30 and 30. Hooks (I) are attached to the

and 30 and the perch P3 is attached so as to horizontally hang in the lower

part. A ladder 4 has base supports 40 and 40 and the hooks (f) are attached to

the tops of the supports. Plural perches P4 are attached between these base

supports 40 and 40 so as to horizontally hang.

COPYRIGHT: (C) 1995, JPO

----- KWIC -----

Abstract Text - FPAR (2):

CONSTITUTION: Perches P2, P3 and P4 are made of wood and formed in a round

rod. Required numbers of projections 10 are spirally formed over the whole

circumference in the peripheral wall parts of the perches P2, P3 and P4. The

cross section of each projection 10 has inverted V-shaped type form and the top

is finished in slightly round shape. A base wood 2 has a support 20 and plural

perch members P2 are attached to the support 20 in radial direction. A swing 3

has hanging rods 30 and 30. Hooks (f) are attached to the tops of the rods 30

and 30 and the perch P3 is attached so as to horizontally hang in the lower

part. A ladder 4 has base supports 40 and 40 and the hooks (f) are attached to

the tops of the supports. Plural perches P4 are attached between these base

supports 40 and 40 so as to horizontally hang.

Document Identifier - DID (1): JP 07227170 A

International Classification, Main - IPCO (1):
A01K031/12

(19)日本国特許庁(J P)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-227170

(43)公開日 平成7年(1995)8月29日

(51) Int.Cl. 6

體別記号

庁内整理番号 FI

技術表示箇所

A01K 31/12

1/035

Z

審査請求 有 請求項の数6 FD (全 4 頁)

(21)出願番号

(22)出顧日

特願平6-47720

平成6年(1994)2月21日

(71)出願人 594047474

株式会社サカイベット産業

福岡県久留米市荒木町下荒木西ノ原42の2

(72)発明者 坂井 貢三

福岡県久留米市荒木町下荒木西ノ原42の2

株式会社サカイペット産業内

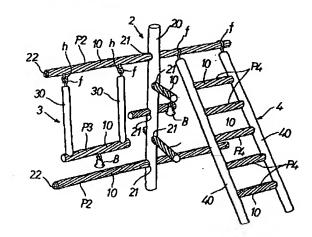
(74)代理人 弁理士 梶原 克彦

(54) 【発明の名称】 愛玩動物用止まり木部材及びそれを使用した愛玩動物用遊戯具

(57)【要約】

[目的] 愛玩動物が止まったりつかまったりすることにより、自然木と同様にストレスを効果的に発散させ、健康増進効果も期待できる、愛玩動物用止まり木部材及び愛玩動物用遊戯具を提供する。

[構成]止まり木P2、P3、P4は、木製で丸棒状に形成してある。止まり木P2、P3、P4の周壁部には全周にわたり所要数の突条10が螺旋状に設けてある。各突条10の断面形状は逆V字型で先部はやや丸く仕上げてある。台木2は支柱20を有し、これには複数の止まり木部材P2が放射方向に向けて取り付けてある。ブランコ3は吊り棒30、30を有し、その上部にはフックfが設けてあり、下部には止まり木P3が水平に掛け渡して取り付けてある。ハシゴ4は基柱40、40を有し、その上部にはフックfが設けてある。基柱40、40の間には複数の止まり木P4が水平に掛け渡して取り付けてある。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 愛玩動物用止まり木部材であって、この 止まり木部材は、

木製の基体の周壁部に所要数の突条が螺旋状に設けてある、

愛玩動物用止まり木部材。

【請求項2】 愛玩動物用遊戯具であって、この遊戯具は、

出入り口を有する愛玩動物用小屋と、

上記出入り口の近傍に設けてあり請求項1記載の愛玩動 10 物用止まり木部材を使用した止まり木と、

を有する愛玩動物用遊戯具。

【請求項3】 愛玩動物用遊戯具であって、この遊戯具 は、

愛玩動物用籠の内部に固定可能で、所要数の挿通孔を有する支柱と、

上記挿通孔にスライド可能に挿通または固定してあり請求項1記載の愛玩動物用止まり木部材を使用した止まり木と.

を有する愛玩動物用遊戲具。

【請求項4】 愛玩動物用遊戯具であって、この遊戯具は

吊下げ可能な二本の吊り部材と止まり木によりブランコ 状に形成してあり、上記止まり木は請求項1記載の愛玩 動物用止まり木部材を使用して形成してある、愛玩動物 用遊戯具。

【請求項5】 愛玩動物用遊戯具であって、この遊戯具は、

二本の基柱と所要数の止まり木によりハシゴ状に形成してあり、上記止まり木は、請求項1記載の愛玩動物用止 30まり木部材を使用して形成してある、愛玩動物用遊戯 具。

【請求項6】 愛玩動物用遊戯具であって、この遊戯具は、

吊下げ可能で所要数の挿通孔を有する基柱と、

上記挿通孔にスライド可能に挿通または固定してあり請求項1記載の愛玩動物用止まり木部材を使用した止まり木と、

を有する愛玩動物用遊戲具。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は、例えば小鳥や小動物等の愛玩動物の飼育に使用する愛玩動物用止まり木部材及びそれを使用した愛玩動物用遊戯具に関するものである。

[0002]

【従来技術】小鳥や小動物等の愛玩動物の飼育には、一般的には飼育かごが使用され、飼育かごの内部には、愛玩動物を遊ばせるための止まり木が掛け渡してある。従来の止まり木は、木を丸棒状に形成したものであった。

[0003]

【本発明が解決しようとする課題点】しかし、上記した 従来の止まり木には次のような課題があった。すなわ ち、自然界においては、小鳥や小動物は自然木の枝に止 まったりつかまって遊んでいる。自然木の枝には、樹皮 の凹凸があり、この凹凸によって小鳥や小動物は止まっ たりつかまったりしやすくなっている。また、凹凸によ って手や足が適度な刺激を受け、ストレスもたまりにく く、健康が増進されるといわれている。

2 .

10 【0004】これに対し、従来の愛玩動物飼育において使用されている止まり木は、単に木を丸棒状に形成したものであり、凹凸も特に形成されていない。従って、愛玩動物が遊ぶときに爪などが引掛からないので止まったりつかまったりしにくい。また、凹凸がないために手や足に対する刺激が乏しく、ストレスを効果的に発散させ、健康を増進するという目的においては十分な構造とはいえない。そこで、本発明の目的は、自然木と同様にストレスを効果的に発散させ、健康増進効果も期待できる、愛玩動物用止まり木部材及び愛玩動物用遊戯具を提20 供することである。

[0005]

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために講じた本発明の手段は次のとおりである。第1の手段にあっては、愛玩動物用止まり木部材であって、この止まり木部材は、木製の基体の周壁部に所要数の突条が螺旋状に設けてある、愛玩動物用止まり木部材である。第2の手段にあっては、愛玩動物用遊戲具であって、この遊戲具は、出入り口を有する愛玩動物用小屋と、上記出入り口の近傍に設けてあり第1の手段にかかる愛玩動物用止まり木部材を使用した止まり木と、を有する愛玩動物用遊戲具である。

【0006】第3の手段にあっては、愛玩動物用遊戲具であって、この遊戲具は、愛玩動物用籠の内部に固定可能で、所要数の挿通孔を有する支柱と、上記挿通孔にスライド可能に挿通または固定してあり第1の手段にかかる愛玩動物用止まり木部材を使用した止まり木と、を有する愛玩動物用遊戲具である。

【0007】第4の手段にあっては、愛玩動物用遊戯具であって、この遊戯具は、吊下げ可能な二本の吊り部材 と止まり木によりブランコ状に形成してあり、上記止まり木は第1の手段にかかる愛玩動物用止まり木部材を使用して形成してある、愛玩動物用遊戯具である。

【0008】第5の手段にあっては、愛玩動物用遊戯具であって、この遊戯具は、二本の基柱と所要数の止まり木によりハシゴ状に形成してあり、上記止まり木は、第1の手段にかかる愛玩動物用止まり木部材を使用して形成してある、愛玩動物用遊戯具である。

【0009】第6の手段にあっては、愛玩動物用遊戯具であって、この遊戯具は、吊下げ可能で所要数の挿通孔 50 を有する基柱と、上記挿通孔にスライド可能に挿通また は固定してあり第1の手段にかかる愛玩動物用止まり木 部材を使用した止まり木と、を有する愛玩動物用遊戯具 である。

【0010】小鳥や小動物は、くちばしや歯が伸びすぎ ないように硬いものを噛る習性を持っている。止まり木 部材は木製であるので、噛って体内に入った場合でも、 プラスチックなどとは相違して無害である。止まり木部 材の直径は、特に限定はしないが、小鳥やハムスターな どの小動物の場合で、8~13mmが好適である。おう ある。

【0011】突条の螺旋の角度は軸方向基準で10~3 0度の範囲内にあるのが望ましいが、この角度に限定す るものではない。突条の断面形状は、逆V字型、先部が 丸く形成してある逆V字型、逆U字型などである。ま た、突条の突起の高さは通常はO.5~1.0mmであ り、ピッチは5~10本/cm程度であるが、十分な滑 り止め効果と刺激が得られれば、上記形状、数値に限定 するものではない。なお、螺旋の方向が相違する二種類 の止まり木部材を所要長さに切断し、これらを接着など 20 により繋ぎ合わせ、繋ぎ合わせ部分で螺旋の方向が変わ るようにすることもできる。

[0012]

【作用】止まり木部材に設けてある突条は螺旋状である ために、例えば鳥が止まった際に扇状に広がる指が突条 の方向と直角により近い角度で重なるために、滑り止め 効果に優れ、刺激も受けやすい。また、愛玩動物の手足 が離れる際に爪の掛かりが突条の傾斜に沿って逃げやす く、不自然に引っ掛かることがないので愛玩動物が動き やすい、

【0013】愛玩動物用止まり木部材を部品として使用 した愛玩動物用遊戯具を愛玩動物の飼育に使用すれば、 愛玩動物は遊ぶときに周壁部に設けてある突条で手や足 に十分な刺激を受け、ストレスを効果的に発散すること ができ、健康も増進される。また、突条は引っ掛かり部 または滑り止めともなるので、愛玩動物は動きやすく、 更には、爪の伸びを防止する効果も期待できる。

[0014]

【実施例】本発明を図面に示した実施例に基づき更に詳 細に説明する。図1は本発明にかかる止まり木部材の一 40 実施例を示す斜視図である。符号Pは止まり木部材で木 製であり、実質的に丸棒状に形成してある。止まり木部 材Pの周壁部には、全周にわたり所要数の突条10が螺 旋状に設けてある。各突条10の断面形状は逆V字型で 先部はやや丸く仕上げてあり、十分な引っ掛かり効果ま たは滑り止め効果を有している。

【0015】図2は本発明にかかる止まり木部材を使用 した遊戯具の第1の実施例を示す斜視図、図3は第2、 第3、第4の実施例を示す斜視図、図4は第5の実施例 を示す斜視図である。図1ないし図4を参照して各実施 50 きる。なお、本発明は図示の実施例に限定されるもので

例の作用を説明する。図2を参照する。符号1は遊戲具 である鳥小屋であり、円形の入口11が形成してある正 面側の下部には、止まり木部材Pで形成された止まり木 P1が接着により取り付けてある。

【0016】図3を参照する。符号2は遊戯具である台 木である。台木2は木で形成された丸棒状の支柱20を 有している。支柱20には、五個の挿通孔21、21・ ・が水平方向に貫通して設けてある。挿通孔21、21 ・・・には、止まり木部材Pを適宜長さに切って形成さ むや九官鳥などの大型の鳥では28~30mmが好適で 10 れた止まり木P2、P2・・・が、放射方向に向けてス ライド可能に挿通させて取り付けてある。

> 【0017】また、止まり木P2のうち、支柱20の上 部と下部に配置された二本の長尺なものの両端部には、 愛玩動物用籠の外線材に嵌め込むことができる溝部22 が設けてある。これによれば、長尺の止まり木P2を適 宜スライドさせて溝部22を外線材に嵌め込み、愛玩動 物用かごの内部に確実に固定できる。なお、符号Bはベ ルである。

【0018】符号3は遊戯具であるブランコである。ブ ランコ3は吊り部材である二本の丸棒状の吊り棒30、 30を有している。吊り棒30、30の上部には、フッ クfが設けてあり、下部には止まり木部材Pで形成され た止まり木P3が水平に掛け渡して取り付けてある。止 まり木P3の中央下部にはベルBが揺動自在に取り付け てある。そして、ブランコ3は、フックfを吊り金具h に掛けて前記台木2の止まり木P2に取り付けてある。 【0019】符号4は遊戯具であるハシゴである。ハシ ゴ4は、二本の丸棒状の基柱40、40を有している。 基柱40、40間には五本の止まり木P4、P4・・・ 30 が水平に掛け渡して取り付けてある。また、基柱40、 40の上端部にはフック f が設けてあり、これにより、 前記台木2の止まり木P2に引っ掛けてある。

【0020】図4を参照する。符号5は遊戯具であるツ リーである。ツリー5は基柱50を有しており、その上 部にはフックfが設けてあり、下部にはベルBが揺動自 在に取り付けてある。基柱50には、止まり木部材Pで 形成された五本の止まり木P5、P5・・・が方向を変 えて水平に取り付けてある。止まり木P5、P5・・・ は、基柱50に設けてある挿通孔51にスライド可能に 装着してある。

【0021】図1ないし図4を参照して各実施例の作用 を説明する。止まり木部材Pを部品として使用した遊戲 具1、2、3、4、5を愛玩動物の飼育に使用すれば、 愛玩動物は遊ぶときに止まり木P1、P2、P3、P 4、P5の周壁部に設けてある突条10で手や足に十分 な刺激を受け、ストレスを効果的に発散することがで き、健康も増進される。また、突条10は十分な引っ掛 かり効果または滑り止め効果を有するので、愛玩動物は 動きやすく、更には、爪の伸びを防止する効果も期待で

はなく、特許請求の範囲の記載内において種々の変形が 可能である。

[0022]

【発明の効果】本発明は上記構成を備え、次の効果を有 する。

(a) 本発明の止まり木部材に設けてある突条は螺旋状 であるために、例えば鳥が止まった際に扇状に広がる指 が突条の方向と直角により近い角度で重なるために、滑 り止め効果に優れ、刺激も受けやすい。また、愛玩動物 の手足が離れる際に爪の掛かりが突条の傾斜に沿って逃 10 の第5の実施例を示す斜視図。 げやすく、不自然に引っ掛かることがないので愛玩動物 が動きやすい。

【0023】(b)本発明にかかる愛玩動物用止まり木 部材を部品として使用した愛玩動物用遊戲具を愛玩動物 の飼育に使用すれば、愛玩動物は遊ぶときに愛玩動物用 止まり木部材の周壁部に設けてある突条で手や足に十分 な刺激を受け、ストレスを効果的に発散することがで き、健康も増進される。また、突条は引っ掛かり部また は滑り止めともなるので、愛玩動物は動きやすく、更に は、爪の伸びを防止する効果も期待できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明にかかる止まり木部材の一実施例を示す 斜視図。

【図2】本発明にかかる止まり木部材を使用した遊戲具 の第1の実施例を示す斜視図。

【図3】本発明にかかる止まり木部材を使用した遊戯具 の第2、第3、第4の実施例を示す斜視図。

【図4】本発明にかかる止まり木部材を使用した遊戯具

【符号の説明】

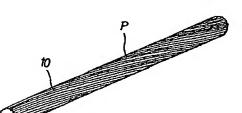
P 止まり木部材

10 突条

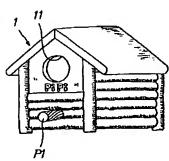
- 1 鳥小屋
- 2 台木
- 3 ブランコ
- 4 ハシゴ
- 5 ツリー

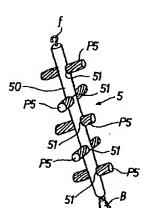
【図2】

P1、P2、P3、P4、P5 止まり木



【図1】





【図4】

【図3】

